

水産物の市況について(令和7年10月及び令和7年11月)

—東京都中央卸売市場における令和7年10月(令和7年9月21日～令和7年10月20日集計)の市況と、
令和7年11月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和7年10月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からやや減少で推移し、前年同月比でもやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比では強含みで推移しました。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

II 令和7年11月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

道東沖のまき網漁が終漁し、産地の水揚量が減少することから、東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

今後、水温の低下により、三陸～常磐沖の水揚量が徐々に増加すると予想され、東京への入荷量はやや増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮物の東京への入荷量はやや減少、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

今後も山陰や九州を中心とした水揚げが続くとみられ、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

今後、東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

かつお近海竿釣り漁の終漁が近いことから、今後、東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

今後、三陸～常磐を中心に漁獲が続くものの、水揚量は減少するとみられ、東京への入荷量は減少し、需要が低下することから、卸売価格は弱含みで推移すると見込まれます。

注:東京への入荷量及び卸売価格の推移は、前月との比較。なお、「高値/安値」については過去5年の平均水揚量及び平均卸売価格と比較。

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	10月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
7年	26	1,619	28	1,549	23	1,630
前年	28	1,410	23	1,524	24	1,558

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	10月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	510	102	87	102
さけ類(平均)	1,420	101	107	127
(ぎんざけ塩蔵品)	1,400	102	108	127
(あきさけ塩蔵品)	1,517	119	117	143
(べにざけ塩蔵品)	1,931	115	109	128
(さけ類冷凍品)	1,458	99	111	132
さば(生鮮品)	642	104	111	121
するめいか(平均)	1,522	156	110	152
(生鮮品)	1,455	164	116	145
(冷凍品)	1,919	100	99	190
あじ(生鮮品)	669	92	105	111
まぐろ(冷凍品)	1,921	100	119	116
(めばち冷凍品)	1,367	102	124	119
(きはだ冷凍品)	1,304	106	150	127
(くろまぐろ冷凍品)	3,639	100	109	109
(みなみまぐろ冷凍品)	2,140	97	102	101
かつお(生鮮品)	1,252	127	178	184
さんま(生鮮品)	1,256	126	132	117

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:10月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和2年～令和6年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613